THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2011～2012 4 月 号 (No782)

主　題（2011／2012）

国際会長	「とにかくやろうー成せば成る」
アジア会長	「とにかくやろうー成せば成る」
西日本区理事	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
中部部長	「先ず一歩 ──楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう──」
名古屋クラブ会長	「もういっちょう皆でがんばって　楽しく充実した例会を」

4 月例会プログラム

と　き：2012 年 4 月 11 日㈬　6:30p.m.～8:30p.m.
ところ：名古屋 YMCA

司　会　加藤　朱美さん
開会宣言　会　長　飯田　純子さん
メネットソング・ワイズソング
聖書朗読・祈祷　尾関　静枝さん
食　事
プログラム
　メネットの歩み「スライド」
　みんなで歌おう春の歌
諸報告
ハッピーバースディ
賛美歌　Ⅱ -164
閉会宣言　会　長　飯田　純子さん

第 2 例 会

と　き:2012 年 4 月 17 日㈫ 7:00p.m.～8:30p.m.
ところ: 名古屋 YMCA
プログラム：5 月例会について他

会　長	渡辺真悟	書　記	平野実郎　千賀　将
副会長	五島八郎	会　計	川口　恵　塩田　保
ブリテン	久保田　平野　伊左治　深谷		

メネット会の願い

飯　田　純　子

日ごろは、メン、メネットの皆さまにはメネット活動にご協力いただきありがとうございます。昨年の大震災を経験して普通の生活を当たり前に送れることを感謝したいと思います。人と人のつながり、絆の大切さを強く感じた 1年でした。これからも、被災地の方達に寄り添い短期間でなく長期間に亘って関わって行かなければと思います。

名古屋メネット会は、昨年 50周年を迎えることが出来、感謝でした。今年の主な活動は、昨年同様、愛実の会での食事奉仕を月に一回、40食作ります。第二土曜日の 10: 00am～ 1: 00pm メネット 3名で担当します。

しかし最近は、メネット会だけでは、人数のローテーションが難しく、2名のメネットさんが中心にしていただいている現状です。しかし、今年は、他クラブのメネット、元メネットの応援も受けることが出来ました。

年 1回の奉仕でもかまいません、参加いただきたくお願いします。いつも愛実の会のメンバーからエネルギーをもらっています。「愛実の会＝ NPO法人・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実、大地の会 /紙風船」

メネット会の先輩の方からは、おもいやりの心と会を運営する知恵、若い方からは行動力と維持力を頂いています。メネットナイトは「メネットの歩み」を皆様と見ながら懐かしい人・場面を通して大いに盛り上げていただくことを願っています。

3月クラブ出席

在　籍	27 名
第 1 例会	15 名
メネット	5 名
第 2 例会	8 名
メネット	1 名
ゲスト・ビジター	0 名
メーキャップ	1 名
出席率	57.7%
メネット会	7 名
ゲスト・ビジター	0 名

B　F

3月	切手 120pt
	現金 0pt
	小計 120pt
累計（7～3月）	切手 2170pt
	現金 22000pt
	累計 24170pt

3 月　個 人 出 席

青　木		木　本	○	中　野	◎				
飯　田		久保田	◎	成　瀬	◎				
伊左治	○	五　島	◎	西　村	◎				
岩　田		小　谷	○	平　野					
尾　関	○	塩　田	○	深　谷					
小　尾		鈴　木	功	水　谷					
加藤明	○	千　賀	◎	渡　辺	◎				
加藤晃		相　馬	◎						
川　口		谷　川	○						
川　本		寺　田							

第 一 例 会（3/14）
　メネット　伊左治　飯田　加藤（朱）　五島　西村
第 二 例 会（3/21）メネット　加藤（朱）
3.11　揚がれ！希望の凧　in　愛知（3/11）相馬　加藤（明）
メネット会（3/17）
　飯田　伊左治　尾関　加藤（朱）　加藤（邦）
　長井　西村
DBC 交流会（3/9-10）
　岩田　川本　木本　久保田　相馬　谷川　成瀬
　西村
　メネット　長井　飯田　西村　加藤（邦）
次期会長・主査研修会（3/10-11）
　成瀬　谷川　渡辺　川本　川口　平野
熊本むさしクラブ 15 周年記念例会（3/24）
　成瀬

○第 1　◦第 2　◎第 1・第 2　M メーキャップ

■■■ 第1例会レポート ■■■

と　き：2012年3月14日㈬　6:30p.m.～8:30p.m.
ところ：名古屋YMCA

3月の例会は恒例のオークションでした。メンバーがいろいろの品物を持ち寄って、自分が希望する価格で買い取っていくわけですが、その価格の付け方のやりとりが楽しいわけです。担当して下さった谷川さん、中野さんの明るい持って行き方がとてもよかったと思っています。

例会がオークションの時、何時も思い出すことがあります。それは既に天に召された深谷誠さんがブリテンに書かれた「猫の茶碗」の話です。ある人がとても値打ちのある茶碗に猫の餌が入れられれて、それを猫が食べているのを見ます。

猫の飼い主にその茶碗を譲って欲しいと頼みます。猫の飼い主は茶碗の値打ちを知らないのです。双方のやり取りの書き方が面白いのでした。失礼ながらオークションに出てくる茶碗などの陶器類の価値を正確に知っておられるメンバーは少ないと思います。安く買うと出された人に申し訳ないと迷うのが普通なのではないでしょうか。しかし、そこを許しあって楽しむ。これが大切だと思っています。

ある組織で東北の大震災の救援資金を目的としたオークションとバザーが行われたときのことです。提供された品物をオークション向けとバザー向けに予め分けてオークションとバザーを行なっていました。このように行なうには手数も掛かりますが、オークションに出す品物に「これ位で」という表示があってもいいと考えます。

今回の売り上げ額は46,600円でした。担当して下さった谷川さん、中野さん、売り上げ額の処理をして下さった塩田さんに記して感謝いたします。　（小谷治郎）

■■■ 第2例会レポート ■■■

と　き　　２０１２年３月21日（火）　19：00～20：20
ところ　　名古屋ＹＭＣＡ

1.2011－2012プログラム

4月11日（水）メネットナイト
　プログラムはメネットの歩みのスライド、合唱

5月19日（土）野外プログラムは根ノ上YMCAキャンプ場でバーベキュー大会
　食材調達担当：小尾メン、会費2000～3000円／人
　Yのリーダを誘う、現地11時集合、メンバーの交通手段の確認
　交通手段の確認を4月第1例会で行う。

6月13日（水）委員会：今年度を振り返り、反省評価し、次年度活動を考える。

6月23日（土）潮干狩り　予約を小尾メンよりしていただき、社会館へ連絡。
　5月第2例会にて社会館との打ち合わせを行う。

2.その他

（1）2012－2013西日本区大会実行委員会
　3月16日名古屋YMCAにて開催。テーマ、会場の詳細について話し合われた。
　次回、4月13日（金）19:00～於名古屋YMCA
　各分科会はそれまでに担当部分について検討しておくことが求められた。

（2）3月20日　中部評議会とYYYフォーラム
　無事盛況のうち終了　中日新聞、東海テレビに取り上げられた。

（3）西日本区大会
　3月例会で受け付けた25名の申し込み渡辺会長により完了した。
　まだ申し込みをされていない方の参加をお願いする

（4）4月14･15日　第1回準備役員会（2012－2013年度西日本区）

（5）来年度ロースターの校正

（6）若い会員、特別メネットの会費の検討
　今後、例会にて議論していく。

（7）会計より
　①西日本区後期分 \205,000
　② BF\23,000
　③ CS（年賀切手）\8,670
　④ YMCA国際協力支援金 \60,000
　⑤ YMCA施設使用料 \67,000
　⑥ DBC交流会みやげ \24,000
　支出した。

（千賀　将）

CSからのお知らせ

年賀切手の集計です。皆様ご協力有難うございました。

年賀切手集計

木本精之助君	9枚	西村　清君	6枚
成瀬　晃三君	5枚	尾関　明君	2枚
谷川　修君	10枚	相馬　静香さん	7枚
加藤　明宏君	6枚	飯田　和也君	5枚
		合　計	55枚

○和歌山紀ノ川クラブ・熱海グローリークラブ　交流会報告○

雪女　返上か？　　いやたまたまです。

谷　川　　修

過去３回の DBC、IBC でことごとく雪に見舞われるのは、この人のお陰？　その某メネットも参加して、開かれたトライアングル DBC 交流会、雪交じりとはいかないものの、いつ雪に変わってもおかしくないような冷たい氷雨が降る岸和田でした。３月９日（金）から１０日という日程は、翌日から大阪で西日本区の次期会長・主査研修会が開催されるということで、次期理事を初めてとして　その研修会に参加するメンバーにとって都合が良かろうと、今回ホスト役を務めて下さった紀ノ川クラブメンバーが考えられたようです。それも、今、朝の連ドラ「カーネーション」の舞台として大ブレイク中の岸和田の地で開催されるということで、我が名古屋クラブからは、３つのクラブで一番多勢の１２名が参加しました。実を言いますと、御免なさい。朝　近鉄名古屋駅で集合したわがメンバーをみた時、「ああ、私もついにこの方たちの仲間入りなんだ、年金暮らし一年目ながら、そう、いわゆるお年寄りの仲間入りとなったんだな」としみじみ思ったことです。それでも、語り、ビールの飲みっぷりは若い者に負けていません。ビールは私も含めてほんの一部の者ですが、とにかく、近鉄ノンストップ列車の中でのおしゃべりが止まらない。２時間はあっという間です。

難波から南海電車に乗り換えて 30 分、いよいよカーネーション舞台の岸和田です。お迎えのメネット達、美しさは名古屋クラブのメネットに劣らないものの、髪の白さも負けていない。そぼ降る雨の中、バスに揺られること 30 分、こんな自然いっぱいの場所なのに、まだ岸和田市なの？　と思うようなとても自然豊か、風光明美な所が交流会の会場であり宿泊場所の牛滝温泉「いよやかの郷」です。そうですね、名古屋近郊で似た場所というと、湯の山温泉辺りでしょうか？

早速　浴衣に着替えて　まずは温泉です。何万年もの地層から湧き出る温泉という触れ込みに嘘偽りはない？、とにかく、とっても良い。少し浸かっているだけで肌がつるつる、すべすべです。今回、この交流会を逃した皆さん、是非　時間をつくって行かれると良いですよ。特に、メネットさん、美しさに磨きがかかりまっせ。（つい、大阪弁になってまった。）　温泉宿は、この１軒だけですが、どうも公営施設のようで、お値段もとても安うおまっせ。

さて、ゆったりと温泉に浸かった後は、いよいよ交流会です。昨年、初めてのトライアングル交流会の思い出話が、故長井メンを偲びつつ語られたり、実に和気あいあいとした楽しい時間です。熱海グローリーのメンバーからは、早々と「次は熱海だな、メンバーの一人が経営している宿でやろう

といった話も、酒を注ぎ合いながら話されます。うーん、これは、毎年恒例行事となるのか、楽しみだなあなどと思っていると、それぞれ持ち寄ったお土産の交換会？　名古屋からはかさばるものの、重くないので“えびせんべい”に致しました。御土産代、ちょっと使いすぎたかも、会計さん御免なさい。紀ノ川クラブからは、宅急便で送られたデコポン。３月第一例会に出てきたあれです。熱海グローリークラブからのおみやげも、３月例会でみんなで食べたあのお菓子ですよ。どちらもおいしかったなあ。紀ノ川クラブの土肥さんは、残念ながら参加できないのでと、旅行に行ったおみやげといって６０度の泡盛を代わりに参加させてくれましたので、早速、２次会で一瓶味あわせてもらいました。誰だ、そのままストレートで飲む奴は、あ、まあ、誰かわかりますよね。だから言わないでおこうと。これは、もう一瓶頂ました。そちらは 5 月の根の上例会で飲むようにとってあります。（この様に宣言して、意地汚い口を封じておかないと）　ところで、酒のつまみにイチゴって　どう思いますか？これがすごくおいしいんですよ。紀ノ川クラブが持ってきてくれたイチゴ自体

がおいしいというのもあるのでしょうが、この不思議でいて、絶妙な取り合わせ、是非一度お試しあれ。飲んだ飲んだ。とにかくこういう交流会があるからワイズは楽しいということを存分に味あわせてもらいました。来年は、熱海にて　再会の約束をしています。バスを借り切るとか、なんでしたら社会館の通園バスを運転しますので、たくさんのメンバーで行きましょう。今から楽しみだなあ。いろいろ考えているうち、すっかり酩酊、後はぬくぬくの布団の中。

さて翌日、夜来の雨もすっかり上がり、会長・主査研修会場の大阪へ向かう成瀬君、川本君、谷川君の３名と別れを告げた残りの９名は熱海グローリーと紀の川のメンバーと共に、朝のNHK連ドラ「カーネーション」の舞台、だんじりの街、岸和田の街並みへと繰り出した。岸和田観光ガイドのおじさんの手旗に引率され、修学旅行の生徒のように先ずは、駅前通りのコシノ洋裁店から見学、テレビドラマで使われた、小原洋裁店の看板他、大道具、小道具等のセットを見学、４トンからある重いだんじりが駆け巡る通りの地面の特別舗装、表通りは全部２階建て大窓つき（だんじりを見るため）等の説明を聞きながら散策、勇壮に駆け上がる小半坂（こなから坂）を経てだんじり会館へ到着。

「**だんじり**〔壇尻・楽車・山車〕祭礼の曳物で車上に山・人物・草木・禽獣などを飾り立て、囃子を行うもの」。

精巧な匠の業で作られた彫り物など、いろいろ解説を聞きながら見学、締めはホールで映像と音響による迫真のだんじりの曳き回しを体感。また昼の勇壮鼓舞、夜の幽玄な静寂（しじま）これを表す２つの顔のあることに一種のオーラを感じた。

最後は岸和田城の一郭にある料理屋での昼食、素晴らしい景色を眺めながら、例のドラマ「カーネーション」のモデル小原糸子こと故越野綾子さんと親交があった女将の岸和田よもやま話、ドラマ撮影の裏話などは興をそそられ、一層この街に親しみを覚えた。

なおこの食事は紀の川クラブのご提供との事、ご馳走さまでした。いろいろなご配慮をいただき紀の川クラブの皆様に厚く御礼申し上げます。

さてお次は「熱海の海岸散歩する・・・」

（文中　２日目を補足、久保田）

3.11　揚がれ！希望の凧　in　愛知

震災からちょうど１年のこの日、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で、凧揚げのイベントが開催されました。元グランパスクラブの奈良明彦さんの呼びかけに応じて、被災地への思いを凧に託し、日本中、世界中の空がつながっていること、支援することを忘れないと凧を揚げました。愛知県に避難しているご家族やYMCAの会員家族約300名、ワイズメンズクラブや日本凧の会東海支部、YMCAスタッフ・リーダーのボランティア約50名が参加しました。HPでは国内23か所、海外５か所で同様のイベントが実施されたと報じています。またパレスチナ・ガザ地区では、予定されていた３月11日が空爆により延期されましたが、１週間後に約1,000人の子どもたちが凧を揚げたそうです。

復興を願う被災地に、そして平和を願う紛争地につながる空を見上げながら、復興と平和への思いを託しました。

（加藤明宏）

希望の凧 HP　http://flykite.web.fc2.com/

今月の聖句

「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残しておいて、見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。」

ルカによる福音書 15：4

西　村　　清

しばらく前にも、百匹のうちの一匹の羊についての話を書きました。社会学者の書かれた『ふしぎなキリスト教』の中に不可解な話として、この箇所が出てきます。神が人間を配慮するやり方は、人間の常識を超えている、というのです。人間の常識は、いわば現在の民主主義であって、多数決というわけです。数の多いほうが優先され、少数派は多数派の意見に従わなければならないというわけです。

しかしイエス・キリストはその公的な生涯（神の子としての、およそ３０歳になってからの約３年間）の最初から、少数派を大切にされた。徴税人、遊女、羊飼い、身体に障害のある人は、みな罪人とされ、一般の人々から相手にされなかった。また、このような人々は最も大切な律法を守らない者として、食卓を共にすることも禁じられていた。しかしイエス・キリストはむしろこのような人々を大切し、共に寄り添われた。「医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく、病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」（マルコによる福音書 2:17）とイエスは語られるのです。

日本でも明治初期の頃、キリスト教会、あるいはクリスチャンが、特にそれまで顧みられなかった少数派を大切にして、いろいろな事業を始めます。放置されていた女子の教育のために学校を多く造り（ミッション・スクール）、幼稚園・保育園といった幼児教育を始め、最近まで社会のために役だたないと考えられて、国が予算措置をしなかった重度知的障害者等の施設、その他多くの開拓的な事業を始めたのもキリスト教会であり、多くのクリスチャンであった。

これは九十九匹の羊を残しておいてでも、迷った一匹の羊を捜しに行き、見つかったら喜ぶ、という精神を大切にするというイエス・キリストの教えを実践しているという証拠である。現在のような複雑な社会にあって、この少数派を大切にするという精神はますます尊重されねばならなくなってきているのではないでしょうか。

『ワイズメンの賢い話』(No192)

『一粒の麦が死ななければ』

「今年のイースター（復活節）は、４月８日でした。イースターってどういう日であるか知っている？」。「キリスト教では、クリスマスと同じように重要な日なのでしょ」。「そうだよ。イエスさまが十字架で死なれてから三日目に復活されたことを記念する日なのだよ。そして、私たちが、たとえ死んだとしても、イエスさまと同じように、新しい命に生きることを願う日なのだよ。イエスさまは、私たちの代わりに私たちの罪を背負って十字架で死んで下さったのだけど、イエスさまは十字架で死なれただけではなくて、三日目に復活されたということが重要なのだよ。そのことをイエスさまは“一粒の麦が死ななければ、一粒のままである。だが死ねば、多くの実を結ぶ”とたとえておられるのだよ。麦は、そのままにしておけば、いつまでも麦のままだけど、畑に蒔けば、その麦は死んで、新しい芽が出て、やがて多くの実がなるようになるのだよ。それと同じように、イエスさまは、十字架で死なれた後で、新しい芽が出たように復活されたのだよ。そのことを信じるならば、私たちは、たとえ死んだとしても、復活して新しい命に生きることができるようになるのだよ。そのことを私たちに示してくださったのが、イエスさまの復活であって、そのことを思い起こすことがイースターなのだよ」。

（ヨハネによる福音書１２章２４節）

（寺田仁計）

会計より会費納入のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。（功労会員と特別メネット会員は年額 36,000 円です）

会費の納入は右記口座へ振込にてお願いします。

できるだけ 6 ヶ月分 42,000 円を 7 月と 1 月に納入してくださるよう、お願いします。（3 ヶ月分ずつ納入される方は 7 月 10 月、1 月、4 月に納入して下さい）

ゆうちょ銀行　記号 12120　番号 82306781
なまえ　ナゴヤワイズメンズクラブ

Menettes of Nagoya Y's Men's Club

メネット３月例会報告

と　き：２０１２年３月17日（土）
ところ：名古屋 YMCA

梅が満開になり、池のカモ達も北へ旅立っていきます。いつもの春が巡って来た、といいたいのですが――。

あれから一年、この 3.11 を迎える迄の日々をわたしたちはどう生きてきたのでしょう。加えてメンバー各々の身辺にも様々な変化がありました。

51 回目のメネットナイトは余り気張らずに、ゆっくりと春の一夜を楽しむ、そんなプログラムです。しかし一方では、早々と来期に向けて会長はじめ三役が決まりました。これは画期的な事件 !! です。心を引き締めて、次への序走に入ります。メネットさん達どうぞ、それぞれのメンを支えて下さいませ。

笑いながらしゃべる、これはメネット会のお家芸。テンポ良く２：30 閉会。

４月メネット会ごあんない

４月１１日（水）メネットナイト
　準備のためメネットはＹＭＣＡに 17：00 集合
　メネットナイトの出欠を４月７日（土）までに飯田までご連絡ください。ＴＥＬ　０５７３－６５－６４２０

４月１４日（土）愛実の会奉仕
　担当　西村　加藤（朱）　松本淳子（東海クラブ）

附記

３月 20 日　YY フォーラムに参加。

私にとって、こんなに意義深い機会はありませんでした。

愛知県への避難者 1300 人。特に福島からの方々は、『心が空っぽです。現地に留まるのも、他所に非難するのも、その選択に何の価値も感じられないのです。』『放射能と共に生きる』というコトバもありました。差別意識との戦いが続きます。

（西村牧子）

西日本区大会参加費についてのお願い

西日本大会の費用は、クラブで一括して送金しますので、下記リストの金額をご確認の上、４月第一例会にて現金で持参頂くか、またはワイズの郵貯口座に４月 15 日までに振込をお願いします。
（ゆうちょ銀行　記号 12120　番号 82306781）

氏　名	参加費	ホテル	合計（円）
飯田和也　純子	42500	16000 T	58500
岩田鑛一	17000	9000	35000
	（9000 エクスカーション含む）		
尾関　明　静枝	36500	16000 T	52500
小尾雅彦	20000	17500	37500
加藤明宏　朱美	36500	16000 T	52500
川口　恵	21500	17500	39000
川本龍資	33000	17500	50500
木本精之助	21500	9000	30500
久保田啓	17000	9000	26000
五島八郎	20000	9000	29000
小谷治郎　充子	33000	16000 T	49000
塩田　保	17000	9000	26000
千賀　将	17000	21000 T	38000
相馬静香	17000	9000	26000
谷川　修	31500	17500	49000
長井衣世	18000	9000	27000
中野美幸	18500	9000	27500
成瀬晃三	31500	17500	49000
西村　清　牧子	35000	16000 T	51000
平野実郎	31500	17500	49000
深谷　誠	34500	17500	52000
渡辺真悟	31500	17500	49000
	（T: ホテルツイン）		

ハッピーバースディ

メン

４月 21 日　塩田　保君
　　22 日　黒川　博英君

メネット

４月　１日　加藤　朱美さん
　　５日　谷川　智子さん

Happy Wedding Anniversary

４月
12 日　木本精之助・洋子夫妻
26 日　小尾　雅彦・昌代夫妻

BF

切手
深谷　聡君 120pt